

## 校長式辞

校長 中野 康子

山々が錦に色づく今日の佳き日、先覚者たちによる障がい児教育の重要性の訴えと多大なご努力により、明治43年、「私立福岡盲啞学校」として開校した本校が、創立110周年を迎え、記念式典を挙行できますことは、誠に喜ばしく、大変光栄に存じます。

開校の後、県への移管、盲啞の分離、校舎移転、幼稚部設置、高等部廃止、校名変更など、形を変えながら現在に至っていますが、歴代の校長先生はじめ旧職員の方々が築かれた聴覚障がい児の自立と社会参加を目指した研究と教育実践に励む学校文化、聴覚障がい教育の専門性を追求する志は、今も変わらず受け継がれています。先人並びに諸先生方のご苦勞と弛まぬ努力に敬意を表し、残してくれた財産に感謝いたします。

現在、本校は、幼稚部・小学部・中学部に73名の幼児児童生徒が在籍し、毎日、元気に学んでいます。聴覚障がい教育の歴史の中で、手話を用いず聴覚口話を重視する教育が行われた時代もありましたが、今は、音声だけでなく手話・指文字や文字などを活用して、幼児児童生徒が自分の意思を表出し、活発にコミュニケーションしながら学び合っています。

本年度は、「学力・言語力の向上」「体力の向上」「豊かな心の育成」を重点目標に掲げ、授業や学校生活のあらゆる場面で、幼児児童生徒に目標をもたせて継続的に取り組ませ、その結果や努力している過程を認めて褒めることにより、主体的に学ぶ子どもを育てる指導を推進しています。また、「教員の専門性向上」「安心・安全で信頼される学校」となるために、職員研修と地域の聴覚障がい教育のセンター的機能の充実に努めております。

110周年の節目に当たり、職員一同、本校の使命を再確認し、更なる努力を重ねていく決意を新たにしているところです。

さて、幼稚部、小学部、中学部のみなさん。次の10年、20年、未来を創るのは貴方たちです。歴史と伝統のある本校で学ぶことに誇りを持ち、皆さんを応援し温かく見守ってくださっている多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、それぞれの得意な力を発揮して、自分自身そして社会の幸せのために、よりよく、力強く生き抜く人財として、成長していくことを願っています。

結びに、開校以来、本校の充実発展にご尽力を賜りました多くの皆様、日頃より深いご理解と温かいご支援をいただいています県教育委員会をはじめ、同窓会、PTA、後援会、地域、関係機関の皆様にご心より感謝を申し上げ、式辞といたします。